

The main logo for the event is "T-SUBASA 2025". The letters "T", "S", "U", "B", "A", "S", "A" are stylized and colored: "T" is red, "S" is green, "U" is orange, "B" is blue, "A" is pink, "S" is green, and "A" is orange. The final "A" is followed by a stylized "F" logo consisting of three horizontal bars in red, orange, and blue. To the right of these letters is the year "2025" in a large, black, sans-serif font. The background features a light blue map of South America.

Transformational Start Ups' Business Acceleration for the SDGs Agenda

Governmentコース課題紹介セミナー

2024年12月11日 (水)

## 本日の流れ

1. Governmentコースの趣旨・概要 (JICA 中南米部 TSUBASA事務局)
2. 課題紹介
  - ①チリ × 社会保障 (障害者支援)
  - ②ドミニカ共和国 × 環境管理 (サルガッサム)
  - ③ペルー × 防災 (事前防災、災害情報発信)
  - ④エクアドル × 環境管理 (カカオ利活用)
  - ⑤メキシコ × 保健医療 (高齢化対策)、自動車産業DX/GX
  - ⑥パラグアイ × デジタル化の促進 (宇宙開発)
3. 今後のスケジュール・問い合わせ先など (JICA中南米部 TSUBASA事務局)

イノベーティブなアイデア・技術・  
ビジネスモデルを有する  
スタートアップ企業



開発課題解決・  
SDGs達成



新たな開発協力の形

スタートアップを取り巻く  
エコシステム

(VC・大学・政府機関 等)

活発な成長市場



日本発スタートアップの事業展開支援を通じて、  
中南米・カリブの開発課題解決・SDGs達成に貢献

# 過去3期で計27社を採択

## Healthcare



アルム (2021)



アドダイス (2021)



メロディ・インターナショナル (2022)

## Energy



チャレナジー (2021)



elleThermo

elleThermo (2023)

## Finance/SME



music securities

ミュージックセキュリティーズ (2021)



CreditEngine

クレジットエンジン (2022)

## Education



DIVE INTO CODE

ダイビック (2021)

## Disaster



Synspective

シンスペクティブ (2021)



ユーカリヤ (2022)

AXELSPACE

アクセルスペース (2022)

## Security



Singular Perturbations

シンギュラーパータ  
ベーションズ (2021)

## Agri



RT CORPORATION

アールティ (2022)

koeerü

Koeeru (2023)

**TOKYO8 GLOBAL**

TOKYO 8 GLOBAL (2023)

## Nature



バイオーム (2023)

## Water



WOTA

WOTA (2022)



Tenchiijin

天地人 (2023)

## Transportation



栄組 (2022)

## Climate



土と、緑で、未来を彩る。  
TOWING  
トーイング

トーイング (2022/23)



green carbon  
グリーンカーボン (2022)



endophyte  
エンドファイト (2023)



RIO COFFEE

アルタレーナ (2022)



サグリ (2022)

**TYPICA**

TYPICA Holdings (2023)

sustainacraft

サステナクラフト (2021)

## Waste Management



Pirika

ピリカ (2023)

## Businessコース

## Governmentコース

### 対象企業

#### 中南米・カリブ地域における現地事業展開を検討する企業

- 将来的に現地での開発・製造やサービス提供などの事業の実態を構築する企業

#### B to BまたはB to Cのビジネスモデルを前提にLACでの事業展開を検討する企業

- プロトタイプ・要素技術を有している企業
- 既に現地パートナーを有している、または現地法人を設立している企業についても支援可能

#### B to Gのビジネスモデルを前提に、JICAが示す重点課題領域やJICA協力事業の効果増幅に貢献するソリューションを有する企業

- JICAが提示する領域や案件に係る公的部門を顧客として想定する企業のみ対象
- 既に国内外での実証が完了・販売実績を有するなど、ソリューションが確立済みであることが要件

### 支援内容

#### 企業の現状とプログラムのゴールに応じたビジネスプランの策定、ビジネスのスケールアップにかかる支援

- メンタリング中心、パートナーング中心など企業の必要性に応じて支援内容をカスタマイズ
- なお、パートナーングについては企業自らの主体的なパートナー探索の動きを期待

#### (現地パートナー候補が存在する場合) 渡航支援が可能

- 渡航の目的を鑑みて、運営にて支援可否を判断

#### 相手国におけるインパクト創出のアプローチ検討とビジネスのスケールアップにかかる支援

- 製品・サービスの顧客となる公的部門とのコミュニケーション
- インパクトパスにかかるメンタリング
- 初期パートナーとのビジネスコンセプトの創出にかかる支援
- スケールアップに向けたメンタリング

#### 現地パートナーとのビジネスコンセプトの合意形成 + スケールアップに向けた検討のための渡航支援

### 追加支援

#### IDB Labによる追加支援の可能性を検討

- 支援プログラム終了時点でIDB Labが検討可否を判断
- 但し、全てのBusinessコース企業に対し、自動的に追加支援の検討が行われるものではない点に留意

#### JICAによる追加支援の可能性を検討

- 支援プログラム終了時点でJICAが検討可否を判断
- 但し、全てのGovernmentコース企業に対し、自動的に追加支援の検討が行われるものではない点に留意

## 応募対象

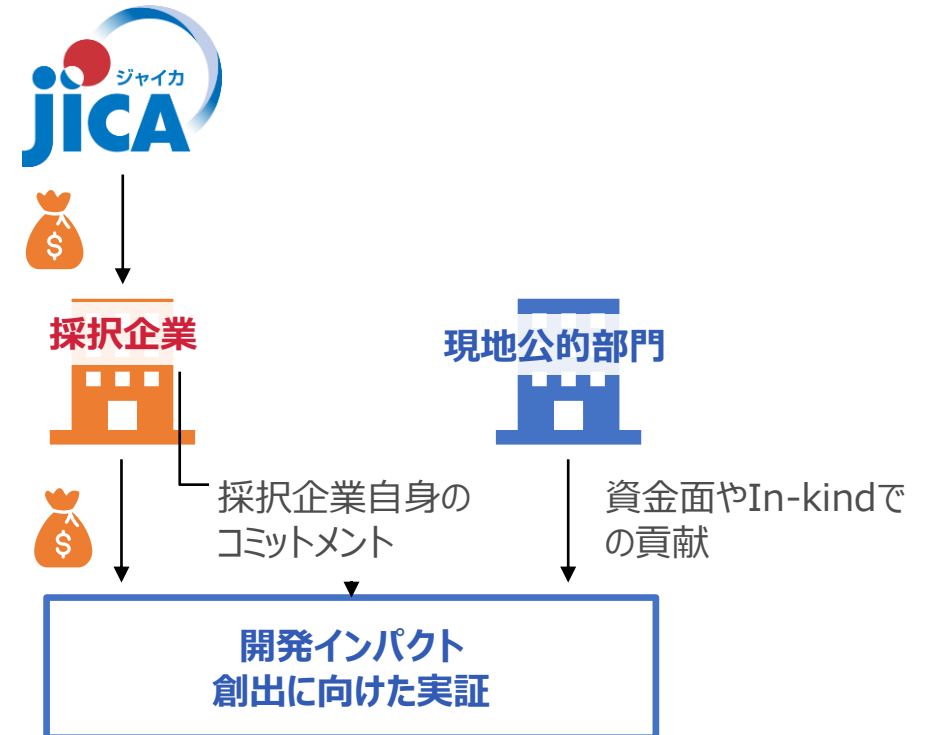
① 個別協力事業との共創	実施中・予定の案件との共創	<p><b>実施予定・中のODA案件の効果増幅を目的とした連携にかかる支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>実施中・予定のODA案件とのシナジー創出および公的部門との共創を想定</li> </ul>
	将来的な個別協力事業の形成を見据えたアイデアの競争	<p><b>JICAが将来的に個別協力事業を模索したい国×社会課題におけるアイデアの共創にかかる支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>公的部門との共創を想定</li> </ul>
② 相手国政府のニーズを起点とした革新的なアプローチの検証		<p><b>相手国政府から関心が示されたニーズに基づく革新的なアプローチの検証</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>応募前に相手国政府からニーズを確認し、得られた内容をベースにソリューションを選定</li> <li>顧客となる相手国政府との連携・共創が前提</li> <li>B to Gのビジネスモデルにフォーカス</li> </ul>

正式に募集する国×テーマは2025年1月のローンチイベントで発表

## JICAの追加支援機会

### 実証にかかるサポートを提供

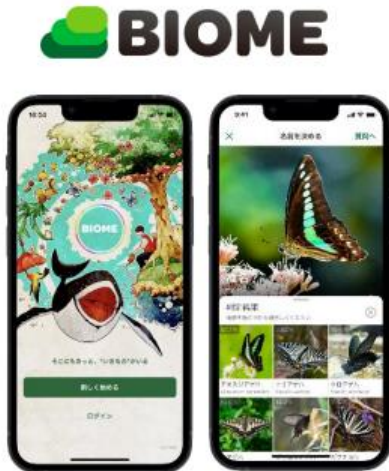
- JICAとしての継続フォローアップ
- 資金面での支援
  - プロジェクト全体に求められる金額のうち、一定の金額については採択企業自身によるコミットメントを求める
  - 金額は案件に応じて決定（TSUBASA2023では1,000万円の支援が上限目安）



## バイオーム (ボリビア・水資源技プロ)

生物情報アプリ（バイオーム）を用いた  
住民参加型の環境モニタリング

いきものコレクションアプリ



## TOWING (ブラジル・劣化農地改良)

土壌微生物培養技術を用いた  
高機能バイオ炭による劣化農地改良



高機能バイオ炭

## ピリカ (ペルー・廃棄物管理)

ごみ分布調査サービス（タカノメ）を  
活用した、路上散乱ごみ調査事業

